

令和7年度

# 第4回 学校運営協議会

令和8年2月13日（金）

9:50~11:30（会議室）



浜松市立伊佐見小学校

## 第4回 学校運営協議会参加者名簿

### 学校運営協議会委員

会 長	イ ヨ ダ    ヒ サ シ 伊代田 尚志 (学校支援コーディネーター兼任)
副 会 長	フルハシ    ヒロイチ 古橋 廣一
委 員	ムラカミ    ク ミ コ 村上 久美子 (学校支援コーディネーター兼任)
委 員	シマノ    ナオキ 嶋野 直輝 (学校支援コーディネーター兼任)
委 員	ナカムラ    ヨシミチ 中村 勝信
委 員	オガイ    ユ リ 小粥 裕里
委 員	ツカモト    マサヨ 塚本 昌代
委 員	フルハシ    コウキチ 古橋 光吉
委 員	ヤマモト 山本 あすか

### オブザーバー

伊佐見協働センター
-----------

### 学校

校 長	タカス    ヨシロウ 高須 祥郎
教 頭	ツジムラ    フ ミ コ 辻村 文美子
教務主任	カワイ    ヒロシ 川合 弘志
CS 担当教諭	サワキ    ミ カ 澤木 美加
CS ディレクター	マブチ    ヒトミ 間渕 仁美

【 次第 】 司会：教頭

1 開催要件の確認

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 議長選出

5 前回の会議録の確認

6 熟議 進行：議長

《本年度のまとめと来年度に向けて》

① 令和7年度の学校評価結果について（教務）

② 令和8年度の伊佐見小の学校運営基本方針について（校長）

③ 令和8年度の教育計画について（教務）

④ 令和7年度の学校運営協議会の評価について（教頭）

⑤ 令和8年度の学校運営協議会の取組について（教頭）

7 報告

○令和7年度夢育やらまいか事業の報告（教頭）

○学校支援活動（ボランティア活動）について（澤木、村上コーディネーター）

8 連絡事項

○令和8年度の委員について

○6年生を送る会（2/26（木））の御参観について

（2月26日（木） 9：15～10：20 伊佐見小学校体育館にて）

○卒業式・入学式の御参列のお願い



令和7年度 第3回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年12月11日（木） 9時10分から10時30分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 会議室
- 3 出席委員 古橋 廣一、村上 久美子（学校支援コーディネーター兼任）、  
嶋野 直輝（学校支援コーディネーター兼任）、小粥 裕理、  
塚本 昌代、古橋 光吉、山本 あすか
- 4 欠席委員 伊代田 尚志（学校支援コーディネーター兼任）、中村 勝信
- 5 オブザーバー 鈴木 浩夫（伊佐見協働センター）
- 6 学 校 高須 祥郎（校長）、辻村 文美子（教頭）、川合 弘志（教務主任）、  
澤木 美加（CS担当教諭）、間淵 仁美（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 間淵 仁美
- 9 議長の選出

第1回の協議会で決定した通り、古橋光吉委員が議長を務めることを確認した。

10 協議事項

（1）2学期の様子と来年度に向けて ～学校評価アンケートをもとに～

11 会議記録

司会の辻村教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）2学期の様子と来年度に向けて ～学校評価アンケートをもとに～

川合教務主任より2学期の学校評価アンケートの結果について報告があり、3つのグループに分かれて各カテゴリーのアンケート結果を踏まえて熟議を行った。

Aグループ（山本委員、鈴木オブザーバー、澤木教諭）

カテゴリー：やりぬく（アンケートの質問19～25）

- ・質問19番について、子供は自己評価が高いが、保護者は低い。子供は好奇心があり、新しいことへの興味もあるので高いのではないかと思うが、保護者は子供が失敗したり傷ついたりすることを心配してネガティブに口出ししてしまう。子供を信じ切る力を持ちたいが、自分の子供は自分で管理しなければならないという現代の風潮もあり、保護者が責任を感じ過ぎて挑戦の機会を摘んでしまっているのではないか。

Aグループの意見に対して、他の委員から以下の発言があった。

- ・親が子供を信じるだけでなく、包容力も必要。失敗してもいいと子供に伝えられれば。（古橋廣一副会長）
- ・失敗がどこまで許されるのか、といったことを学ぶことも大切。（小粥委員）

Bグループ（古橋廣一副会長、村上委員、小粥委員、川合教務主任）

カテゴリー：ふかめる（アンケートの質問19～23）

- ・「ふかめる」の質問全般で、児童と保護者の差が激しい。親から見ると子供はもっとでき

と思うってしまうかもしれないが、今がんばっている子供たちを認めてあげて欲しい。保護者も地域も子供たちのできることをほめてあげ、先生はやる気スイッチを見つけてあげることで良い循環が生まれるのではないかな。

#### Cグループ（嶋野委員、塚本委員、古橋光吉委員、辻村教頭）

カテゴリー：みとめあう（アンケートの質問12～18）

- ・質問14番の結果が低いですが、自分たちの子供の頃を振り返ると、先生主導で、子供たちはあまり学校を良くしようなどと考えていなかった。今の子は考えているほうだと思う。委員会などの代表の子だけでなく、みんなで考えられるようにクラスミーティングのテーマにしてみてもどうか。
- ・質問18番は先生の評価が低いですが、これは、校内での挨拶はできているが地域の人たちなど、もう一歩進んでほしいと期待しているから。また、挨拶の基本は家庭からだと思うので、保護者も挨拶をするような家庭環境を整えるべき。挨拶には、関係が深まるきっかけになるなど、良い効果があるので、学校でも挨拶の大切さを子供たちに伝えてほしい。

#### Cグループの意見に対して、オブザーバーから以下の発言があった。

- ・挨拶については、放課後に協働センターで勉強をする子たちがいるが、挨拶はできているし、自分たちが出した消しかすの処分などもできている。また、クラスを良くするという点については、自分が子供の頃は、クラス対抗で行う運動会や音楽会などで、賞状を貰ったりすることでクラスのまとまりが良くなった。（鈴木オブザーバー）

#### その他、グループ協議以外で以下の意見が出た。

- ・持久走が今年から2日に分けて実施、各学年の男女別ではなくクラス毎の男女混合など、大きく変わった。2日に分けることで保護者の負担が増えたり、他の学年が見られないなどのデメリットがあるが、実施後にアンケートなどをとる予定はあるか。（嶋野委員）  
→持久走は、廃止する学校が多い中、本校では児童の経験の裾野を広げたり、嫌いなことでも実際に体験してみる機会を与えたりするために継続して開催している。従来は、他者と比較して順位付けするという色合いが濃かったが、他者との比較ではなく自分の成長という点に着目するために、このような実施方法に変更した。本活動単体でのアンケートについては考えていないが、今回やってみて改善すべきところは次年度に生かしたい。（高須校長の回答）
- ・持久走の実施方法については、保護者にも意見はあるとは思いますが、児童本位で実施すればよいと思う。（塚本委員）

熟議の後、辻村教頭が第4回の議長について意見を求めたところ、山本委員が議長を務めることになり、全員異議なくこれを承認した。

#### 12 報告事項

村上コーディネーターより、学校支援コーディネーターの活動についての報告があった。

#### 13 連絡事項

辻村教頭より第4回学校運営協議会が2月13日（金）9:10より開催される旨、案内があった。

学校評価【結果】 令和7年度 伊佐見小学校 (2学期)

今年度、新設した(大きく内容変更した)質問  
 他の質問に比べ、比較的数字が高いもの  
 他の質問に比べ、比較的数字が低いもの

学校教育目標	児童	保護者		教職員		運営協議会・地域の方(外部)			
		とてもそう思う(%)	とてもそう思う+まあそう思う	とてもそう思う(%)	とてもそう思う+まあそう思う	とてもそう思う(%)	とてもそう思う+まあそう思う		
学校教育目標 目指す子供像 自立心と社会性を備えた未来の大人 高め合う	全体	①伊佐見小学校に楽しく通っている。	↑64.9 93.5	①子供は、楽しく学校に通っている。	49.3 92.8	①本校は、どの子ども大切に、よりよい信頼関係を築いて、楽しく学校生活が送れるような指導・支援を行っている。	80.0 ↑100.0		
		②自分のめあて(なりたい自分の姿)を持ち、めあてに向かって力いっぱい取り組んでいる。	↑145.5 ↑87.5			②本校では、教育実践を通して、学校教育目標「こころざしをもち 高め合う」及び目指す子供像「自立心と社会性を備えた未来の大人」にそった教育活動が行われている。	20.8 ↑100.0	②学校教育目標「こころざしをもち 高め合う」及び目指す子供像「自立心と社会性を備えた未来の大人」にそった教育活動が行われている。	↓25.0 ↓75.0
		③先生たちは、いじめがないように指導したり、いじめがあったときは、すぐに対応したりしている。	↑73.4 97.2	③学校は、いじめの未然防止や早期発見に努め、いじめがあった場合には、迅速に対応して解決しようとしている。	25.4 ↑76.8	③本校では、いじめの未然防止や早期発見に努め、組織で早期対応をしている。	↑184.0 96.0	③学校は、いじめの未然防止や早期発見に努め、いじめがあった場合には、迅速に対応して解決しようとしている。	12.5 62.5
		④困ったことがあったとき、先生に相談しやすい。	50.6 ↑89.2						
	ふかめる	⑤授業のめあて(ゴール)に向かって、一生懸命学習に取り組んでいる。	↑53.1 90.5	⑤子供は、学習の課題を自分事として捉え、意欲的に授業に取り組んでいる。	18.1 77.0	⑤子供たちは、学習を自分事として捉え、意欲的に授業に取り組んでいる。	16.0 ↓88.0		
		⑥授業中、進んで友達に考えを伝えたり、友達の考えをよく聴いたりして、自分の考えをよりよくしている。	↑51.1 90.3			⑥子供たちは、互いに考えを伝え合い、学びを深めることができている。	12.0 ↑96.0		
		⑦授業(単元)のゴールを意識して、自分で計画を立てて勉強している。	40.2 82.5			⑦本校では、子供自ら学びを進めることができるように単元構想を工夫している。	44.0 ↑100.0	⑦教職員は、子供が興味や意欲を持ち、自分で学習を進めることができるように、授業を工夫している。	25.0 62.5
		⑧授業の内容がおもしろく、「好き」「もっと知りたい」と思うことが増えている。	↑52.4 86.8	⑧学校は、楽しく分かりやすい授業を行い、学習への興味が高まり、将来に向けてのきっかけづくりとなっている。	21.7 86.2	⑧本校では、キャリア教育を視点とした授業改善に努め、子供たちの「好き」を増やすきっかけとなる授業を行っている。	↓20.0 ↓88.0		
		⑨授業の内容がよく分かっている。	↑55.0 94.7	⑨子供は、学習内容をよく理解している。	10.1 75.3	⑨子供たちは、学習の基礎・基本が定着している。	↓4.0 ↑76.0	⑨教職員は、基礎的な学力が身に付くような分かりやすい授業をしている。	25.0 62.5
		⑩授業の復習をしたり好きなこと(興味のあること)を調べたりして、家でも自分なりに学習をしている。	43.0 82.3	⑩子供は、授業の復習をしたり興味のあることを調べたりして、家でも自分なりに学習に取り組んでいる。	10.4 46.9	⑩本校では、子供たちが家庭でも自ら学習に取り組むことができるように、支援している。	↓16.0 ↑88.0		
		⑪地域の人と一緒に活動したり、地域の人に教えてもらったりして、伊佐見地区のことが好きだ。	↑60.0 92.1	⑪学校は、地域の人材や教育資源を活用し、いろいろな体験学習を取り入れている。	33.6 91.8	⑪本校では、地域の人材や教育資源を活用し、豊かな体験学習を取り入れている。	↑72.0 96.0	⑪学校は、地域の人材や教育資源を活用し、豊かな体験学習を取り入れようとしている。	37.5 100.0
		⑫学校の中に安心できる場所があり、学校やクラスは楽しい。	↑74.4 95.6	⑫学校に子供の居場所があり、友達と仲良く、安心して生活することができる。	44.0 91.6	⑫一人一人に合った居場所があり、子供たちは安心して学校生活を送っている。	↑52.0 ↑100.0		
		⑬友達によさを進んで見つけたり、互いに協力して光のシンフォニーや運動会などの活動に取り組んだりしている。	↑↑74.8 97.0	⑬子供は、互いのちがいを認めて生活したり、友達と協力して、光のシンフォニーや運動会などの活動に取り組んだりしている。	↑↑57.7 95.6	⑬子供たちは、ちがいを認め、互いのよさを生かして学校生活を送ったり、行事や児童会活動に協力して取り組んだりしている。	48.0 100.0	⑬子供たちは、仲間と協力して、光のシンフォニーや運動会などの行事に取り組んでいる。	↑75.0 87.5
		⑭自分のクラスや学校をよりよくしようと、自分で考えて行動している。	44.1 85.2			⑭子供たちは、自分事として、学級や学校をよりよくしようと考え、行動している。	28.0 92.0		
		⑮上級生として、下級生の手本となったり、やさしく接したりしている。(4年以上)	54.7 92.0	⑮学校は、異学年交流を通して、学年を超えて友達と関わる場面を増やしたり、上級生が学校のリーダーとしての意識を高めるようにしたりしている。	↓43.7 92.0	⑮高学年の子供たちは、異学年交流を通して、自ら主体となって活動を牽引していく意識を高めている。	↓40.0 92.0		
	⑯先生は、頑張っていることを褒めてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。	65.8 96.5	⑯学校は、子供のことを理解し、心の変化や悩みに敏感に対応している。	21.3 79.3	⑯子供たちは、自己有用感や自己肯定感を高めている。	↑20.0 96.0			
	⑰命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。	↑80.6 97.2	⑰子供は命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。	42.8 93.8	⑰子供たちは、命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。	↑32.0 92.0			
	⑱友達や先生、地域の人に、自分から進んで挨拶している。	61.0 92.4	⑱子供は、進んで挨拶している。	23.7 71.8	⑱子供たちは、進んで挨拶しようとする意識や実践力を付けている。	4.0 ↓48.0	⑱子供たちは、地域の方に進んで挨拶している。	↓25.0 ↓75.0	
	やりぬく	⑲難しいことや不安なことにも、積極的にチャレンジしている。	45.5 84.5	⑲子供は、失敗を恐れずに、いろいろなことに挑戦しようとしている。	14.5 63.1	⑲子供たちは、失敗を恐れずに、いろいろなことに挑戦しようとしている。	16.0 80.0		
		⑳4月に考えた「なりたい自分」や目標に向かって、諦めることなく、粘り強く努力している。	↑52.4 88.7	⑳子供は、自分の立てた目標に向かって、諦めることなく粘り強く努力している。	14.3 68.9	⑳子供たちは、自分の立てた目標に向かって、諦めることなく粘り強く努力している。	↓12.0 ↑92.0		
㉑力いっぱい運動したり、休み時間に進んで運動したりしている。		50.3 77.6	㉑子供は力いっぱい運動し、体力を向上させたり、運動の習慣を身に付けたりしている。	32.6 73.7	㉑子供たちは、力いっぱい運動し、体力を向上させたり、運動の習慣を身に付けたりすることができる。	↓↑24.0 ↑92.0			
㉒交通ルールを守り、安全に気を付けて生活している。		↑↑75.1 ↑↑97.3	㉒子供は、交通のルールを守り、安全に気を付けて生活している。	38.9 94.2	㉒子供たちは、交通安全や防災、防犯の意識を高め、安全に気を付けて生活している。	16.0 ↑92.0	㉒子供たちは、交通のルールを守り、安全に気を付けて生活している。	↓0.0 ↓87.5	
㉓早寝・早起き・朝ご飯を意識して、規則正しく生活している。		53.8 89.6	㉓子供は、早寝・早起き・朝ご飯を意識して、規則正しく生活している。	↑35.0 82.6	㉓子供たちは、基本的な生活習慣(睡眠・食事等の自分の健康管理)を身に付けている。	↓12.0 ↑92.0			
家庭との連携		㉔学校は、相談体制(面談や教育相談、SCなど)が充実し、相談しやすい。		25.6 84.1	㉔本校では、教育相談等を活用して、児童や保護者の話をよく聴いている。	44.0 96.0	㉔学校は、家庭・地域との連携・協力を進めている。	↑50.0 75.0	
		㉕便りやHP、さくら連絡網などを通して、学校の情報や学校生活の様子がよく分かる。		40.3 94.2	㉕私自身を含め本校は、便りやHP、さくら連絡網を通じて学校の情報や子供の様子を保護者に発信している。	56.0 96.0	㉕学校の教育の様子が、便りやHP(ブログ)でよく分かる。	50.0 87.5	

# 令和8年度 浜松市立伊佐見小学校グランドデザイン（案）

はままつづくり未来プラン「基本理念；描く夢や未来の実現」

「基本コンセプト；主体性・多様性・包摂性、信頼・協働」

＜目指す子供の姿＞

自分らしさを大切にする子供  
他者と協働し、主体的に行動できる子供  
自己調整しながら、粘り強く取り組む子供

＜湖東中学校区で目指す子供像＞

意欲をもって学び続ける子  
～12か年の学びと育ちをつなげる保幼小中一貫教育の推進～

＜学校教育目標＞

こころざしをもち 高め合う

＜目指す子供像＞

自立心と社会性を備えた「未来の大人」

【ふかめる】

自ら学びを進め、ともに深める子

【みとめあう】

ちがいを認め、生かし合う子

【やりぬく】

しなやかに、力強くやりぬく子

＜目指す学校像＞

安心して 精一杯学び合える 活力ある学校

伊佐見地区のシンボルとして地域を繋ぐ学校

～子供も大人もみんな成長、みんなが幸せに～

## ふかめる

- 主体的に学ぶことができる授業
- 他者との関わりを大切にする学習
- 笑顔と真顔のある授業
- 地域に学ぶ豊かな体験学習

- ・児童の学習意欲を喚起する魅力ある単元及び授業構想
- ・学びのユニバーサルデザイン化
- ・ICT活用と実体験の往還（五感に触れる身体性を伴う経験）
- ・読書活動を楽しむ
- ・地域人材、教育資源の活用

## みとめあう

- 温かく対等な人間関係づくり
- 自分事として物事を捉え、考える姿勢
- 自己有用感の向上

- ・話し合い活動及びCMの充実
- ・異学年交流の推進
- ・心の日、命の月間の実施
- ・自治的活動である委員会活動の充実
- ・日常的な児童理解の実践
- ・2大行事の充実
- ・挨拶運動の推進

## やりぬく

- 「好き」「関心」を大切にし、挑戦する心
- 健康・体力及び安全意識の向上
- 基本的生活習慣への意識

- ・マイタイムの効果的活用
- ・レジリエンス教育の推進
- ・健康な心と体づくり及び食育の推進
- ・自分の命を守る安全教育（家庭・地域・中学校との連携）
- ・基本的生活習慣の定着

発達支援教育の理念（多様性・包摂性及び安心感）

キャリア教育の視点

育ちを支え、学びを広げる地域

伊佐見コミュニティ・スクール

人間形成の基礎をつくる家庭

## 【教育構想における3箇条】

- 1 伊佐見地区のシンボルたる存在として、「地域・保護者とともに伊佐見の子供を育てる」学校づくりを進める。  
【みんなで成長、みんなが幸せ】【コミュニティ・スクールの推進】【情報発信】
- 2 発達支援教育の理念を基盤に、一人一人のよさを見付け、自己実現を支援する。【多様性・包摂性、安心感】
- 3 常にキャリア教育の視点を持ち、全教育活動を行う（中心となるのは教科指導及び特別活動）。  
【キャリア教育、社会性】【授業構想、学び続ける教職員】

## 令和8年度 よいよい伊佐見小学校をめざして…

- ①自分事として学びを進め、より確かな知識・技能を身に付けることができるようにする。
- 子供たちが「おもしろそう」「やってみたい」と思うような魅力ある授業にするため、単元構想や単元を通して考える課題、活動を工夫する。
  - 単元の目標をしっかりと確認するとともに、学習の見通しを持ったり、学習の振り返りをして自分の学習を調整したりする時間を設定する。
  - 一人一人の興味関心や学習スピード、到着度に合わせ、教材や学習環境を整える。
  - ICTをやみくもに使用するのではなく、学習内容や段階に合わせ、実物に触れたり、実際に体験したりする学習も取り入れ、ICTの活用と実体験の往還を大切にする。
- ②学級、学年の枠を超えてちがいを認め、生かし合うことができる子を育てる。
- クラスミーティング（身近なものをテーマに学級や学年で意見交流をする時間）やいさみフレンズデー（上級生と下級生と一緒に遊ぶ活動）の活動を継続して実施する。
  - 光のシンフォニーだけでなく、運動会やいさみフレンズデー終了後、互いの頑張りや良さを認め合う「手紙」を、異学年の児童に書く活動を取り入れる。
- ③6学年という異年齢構成を有効に捉え、上級生が自ら主体となって活動を牽引していく意識を高める。
- 縦割り清掃のペアを増やし、1年と6年、2年と4年、3年と5年のペアで清掃に取り組む。高学年の児童が低学年の児童に清掃の仕方を教え、上級生と下級生と一緒に校内をきれいにしていく。
  - 委員会活動を充実させ、下級生にも委員会活動の取り組みが分かるように、掲示物を作成したり、便りを発行したりする。
- ④自分の目標に向けて、継続的に努力することができる子を育てる。
- 学期はじめに、「なりたい自分の姿（目標）」を考え、その姿にせまるために、どんな取り組みをするとよいか考える時間を設ける。学期終わりには、なりたい自分の姿を達成できたのか振り返りを行い、次はどうしていきたいか考えるようにする。（学活）
  - 基本的な生活習慣に内容を加えるなど、今年度からはじめた「マイタイム」の項目を見直す。そして、定期的に自分の生活を振り返り、できている項目、できていない項目を確認することで、自分の生活を自分でよりよくしていくことができるようにする。
- ⑤伊佐見地区のシンボルとして、地域をつなぐ学校を目指す。
- 4月と2月の参観会とは別に、6月18日（木）に学校公開日を実施し、授業だけでなく休み時間や給食の様子を、保護者の方に見ていただく。
  - 学校支援コーディネーターと連携し、地域、保護者の方に、学習ボランティアとして教育活動に積極的に参加していただく。
  - 150周年を祝い作成した「森の水車」の準備運動を、継続して実施する。

# 令和7年度 学校運営協議会 自己評価

## ＜本年度の目標＞

- ・学校運営の基本方針に沿って、子供のことを第一に考えた意見交換を行い、熟議を進めていくとともに、保護者や地域を巻き込んだ教育活動にしていく方法を考えていく。
- ・CSボランティアの活動を「子供たちの成長のために必要な活動」と捉え、引き続き人材確保を進めるとともに、活動内容を広げていく。

## ＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ふかめる、みとめあう、やりぬくの項目ごと、グループに分かれて討議し、様々な角度から意見を出し、良い熟議ができた。
- 学校評価の資料を個人で読む→グループディスカッション→全体に発表という形で、自分の視点だけでなく、協議会のメンバーそれぞれの視点で意見を出し合っていた。
- 委員それぞれの発言は一方的にならず、多様な視点での意見が出され、より厚みのある議論になったと思う。ただ、「熟議」というには少し時間が短かったかもしれない。
- 協議会として、みなさん、学校運営の基本方針について、よく理解できていたと思います。校長先生の考え等、とても素晴らしいと思います。私自身が身近なところに小学生がいないので、把握が難しく、協議会には参加できたものの熟議まではいけたかなという思いがあります。
- 学校運営の基本方針については、前年度に協議されているものであり、その進捗をチェックすることが中心となる。これを材料に、取り組みの課題や方向性について議論することで、来年度の学校運営の方針に提案していくこととなる。この視点から評価すれば、熟議により進展が見られ、さらに前進すると見られる。こうした中で、来年度の方向性に向けた議論にも時間を割けるといいかな。
- 小学生、小学校との関わりがなく、積極的でなかった。
- 各委員がよりよい学校運営のための建設的な意見を発言できたとは言い難い。

## ＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- コロナ禍に入学した児童が6年生に成長し、校長先生が新しく赴任され、上級生の下級生への思い、先生方の変化等を伺い、私たちも少しは力になれたかなと感じています。
- 目指す子供像に近づくよう、学校が行ってくださった他学年交流による成果を実感しました。現在、6年生に娘がおり、5年生の頃は先生方から、「君たち、来年は最高学年だよ。大丈夫か」と言われることも多かったと聞いております。そんな彼女たちの今の姿を見ると、ペアの1年生だけでなく、委員会やクラブが一緒の下級生を大切にしている、先輩であるという自覚を持って接していると感じています。この姿こそ成果ではないかと思えます。
- どうしたら子供を中心として、学校・保護者・地域が連携した活動ができるか等、具体的な意見が多く出されたと思う。
- それぞれの立場、役割を理解し、“子供のために”という共通の思いをもって、熟議を進めることができました。

○地域住民や団体との連携について、学校支援コーディネーターの努力により進展が図られている。一方、さらに進めるには保護者の関心を惹起し、ボランティア活動への参加等により一体感を醸成していくことが、(いつの時代でもそうではあるが)課題の一つとして挙げられる。

- 学校、家庭、地域の役割分担があいまいである。
- もう少し突っ込んだ議論が必要だと考える。
- 地域とのつながりの大切さは実感しているものの、一部の人とのつながりに限られてしまうのは大きな課題と言えます。

### <評価項目3> 協議会での協議結果について十分な情報発信を行ったか。

○学校支援コーディネーターの方の御尽力が大きいと思われませんが、そこに至るまでの協議会での議論も十分行われたと思います。

- 学校が CS だよりを発行してくれてはいるが、その他の情報発信は少ない。(各委員、協議会全体としての課題である。)
- 地域自治会に回覧される資料はあるものの、浸透するには至っていないと思われる。委員が個々に行う情報発信も有効な手段ではあるが、協議会だよりとして訴求力がある内容・回数に工夫が必要だと考える。
- 小学生の子供をもつ家庭との接点がほとんどないため、主任児童委員会での意見交換のみで、発信量が大変少なかった。
- 学校 HP での CS だよりの情報発信はあるが、そのみなので、保護者や地域の方、もっとたくさんの方に知っていただけるような情報発信ができると、協力者も増えるのではないかなと感じました。
- 協議会の中では、毎回、協議内容を読み返したり、振り返ったりすることができたと思いますが、協議結果を外部(地域、保護者)に伝え、広められたかという点については、まだまだ不十分かと思います。協議会で、たくさんの意見が出て、本当に素敵な方々が小学校のことを考えてくださっているということをもっと多くの保護者に知ってほしいと思います。

### <評価項目4> 今年度の取組の評価をふまえた来年度の目標(取組の重点)

- ・やはり、「子供たちの成長のために必要な活動」には、保護者の理解と協力はとても大切だということを強く発信できればと思います。(学校や地域からだけでなく、子供たち本人からの発信も大きな力になるのではないのでしょうか。)
- ・基本的には継続でいいのではないかな。
- ・ボランティアに参加することを心がけ、自分自身を地域に密着させたいと思います。
- ・もっと協力者が増えるように努力する。アンケート結果も必要ですが、実際に子供の姿を見たり、一緒に活動したりすると、子供たちへの見方も変わってきて、いいのではと思います。
- ・協議会メンバーにもう少し保護者の枠を増やしてみてもどうか。
- ・協議会として、しっかり課題を認識したうえで進めるべきである。
- ・今年度の目標であった「保護者や地域を巻き込んだ教育活動」をしっかり考えるべきである。
- ・年4回の協議会で議論すべき内容を学校と協議会で事前に整理してから、次年度の協議を進めた方がいいと思う。

(様式1)

学校番号 (小41)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立伊佐見小学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・学校運営の基本方針に沿って、子供のことを第一に考えた意見交換を行い、熟議を進めていくとともに、保護者や地域を巻き込んだ教育活動にしていく方法を考えていく。
- ・CSボランティアの活動を「子供たちの成長のために必要な活動」と捉え、引き続き人材確保を進めるとともに、活動内容を広げていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった  
(理由)

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

(様式1)

令和 7年 5月14日

浜松市立伊佐見小学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 村上 昇市 様

浜松市立伊佐見小学校運営協議会  
会長 伊代田 尚志

### 夢育やらまいか事業に対する意見書

令和7年5月14日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

#### 記

#### 1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 伊佐見地区は自然が豊かである。子供たちに地区の自然のよさを、体験を通して感じてほしい。  
⇒「伊佐地川を愛する会」の方を講師に招き、3・5年生が伊佐地川について学ぶ活動を行いたい。また、地域で農業を営む方を講師に招き、5年生が実際に米づくりを行いたい。
- ② 子供たちの「心の耕し」のために読書活動の推進をしたい。  
⇒読み聞かせに適した本を購入し、読み聞かせボランティアの活動の充実を図りたい。また、教科学習の時間に活用できる本を購入し、主体的に学ぶ気持ちを育てたい。
- ③ 栽培活動を通して、子供たちが収穫の喜びを感じたり、季節の変化を感じたりしてほしい。  
⇒2年生が生活科の学習でさつまいもを栽培するので、適切に肥料を使用し、収穫の喜びを味わうことができるようにしたい。また、計画的に花や野菜を栽培し、季節の変化の様子を感じられる環境整備を行っていきたい。

浜松市立伊佐見小学校 学校運営協議会計画について (R8.2.13 現在)

		R7		R8			
回	日時	内容	司会・挨拶	日時	内容	司会・挨拶	委員の方々に御参観いただく学校行事など
1	5/14 (水) 9:40～ 11:10	○授業参観 ・任命書交付 ・自己紹介 【熟議】 ・学校運営基本方針について(校長) ・学校いじめ防止基本方針について ・学校運営協議会の自己目標の決定 ・夢育事業に対する意見書について 【報告】 ・ボランティア活動計画について (年間の大まかな計画・1学期の計画)	挨拶: 古橋副会長 議長: 嶋野委員	5/13 (水) 9:50～ 11:00	○授業参観 ・任命書交付 ・自己紹介 【熟議】 ・学校運営基本方針について(校長) ・学校いじめ防止基本方針について ・学校運営協議会の自己目標の決定 ・夢育事業に対する意見書について 【報告】 ・ボランティア活動計画について (年間の大まかな計画・1学期の計画)	挨拶: 議長:	○入学式 ○運動会
2	7/16 (水) 9:50～ 11:10	○授業参観 【熟議】 ・《1学期の様子と2学期に向けて》 学校評価アンケートをもとに 【報告】 ・学校支援活動(ボランティア活動)について	挨拶: 伊代田会長 議長: 山本委員	7/14 (火) 9:50～ 11:00	○授業参観 【熟議】 ・《1学期の様子と2学期に向けて》 学校評価アンケートをもとに 【報告】 ・学校支援活動(ボランティア活動)について	挨拶: 議長:	※6月 学校評価 アンケート①
3	12/11 (水) 9:10～ 10:35	【熟議】 ・《2学期の様子と来年度に向けて》 学校評価アンケートをもとに 【報告】 ・学校支援活動(ボランティア活動)について 【連絡】 ・伊佐見小学校学校運営協議会の評価について	挨拶: 古橋副会長 議長: 古橋副会長	12/15 (火) 9:10～ 11:00	【熟議】 ・《2学期の様子と来年度に向けて》 学校評価アンケートをもとに 【報告】 ・学校支援活動(ボランティア活動)について 【連絡】 ・伊佐見小学校学校運営協議会の評価について	挨拶: 議長:	※11月 学校評価 アンケート② ○光のシンフォニー 2学期の児童の様子 の参観は、行事で 行う
4	2/13 (金) 9:50～ 11:30	○授業参観 【熟議】 《本年度のまとめと来年度に向けて》 ・R7 学校評価の結果について ・R8 学校運営基本方針について ・R8 教育計画について ・R7 学校運営協議会の評価について ・R8 学校運営協議会の取組について 【報告】 ・R7 夢育やらまいか事業について ・学校支援活動(ボランティア活動)について	挨拶: 伊代田会長 議長: 山本委員	2/12 (金) 9:50～ 11:30	○授業参観 【熟議】 《本年度のまとめと来年度に向けて》 ・R8 学校評価の結果について ・R9 学校運営基本方針について ・R9 教育計画について ・R8 学校運営協議会の評価について ・R9 学校運営協議会の取組について 【報告】 ・R8 夢育やらまいか事業について ・学校支援活動(ボランティア活動)について	挨拶: 議長:	○6年生を送る会 ○卒業式

# 教室配置図・担任名

